様式第３号

事務事業評価表（令和 2年度）

事業コード	1839	課コード	1602	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策　■経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業		実施計画への位置づけ	○有　○無
		個別事業	旧井上家住宅の保存と活用		
	②部課名	生涯学習部・文化・スポーツ課			
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	□我孫子　□天王台　□湖北　□新木　■布佐　□全市
	⑤事業期間	令和 2年度　～		⑥担当職員数	5 人　（換算人数　0.76 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0 千円	当該(開始)年度	（当　初）27,745 千円　（うち人件費　6,612 千円） （変更後）27,729 千円　（うち人件費　6,612 千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	53301	重点プロジェクトへの位置づけ	重点２
	基本計画地区別計画への位置づけ	○有　●無	部門別計画への位置づけ	（計画名）	
(2)目的	施策目的・展開方向	我孫子市の歴史や文化、風土をより身近に感じ、ふれあってもらうため、指定文化財制度や登録文化財制度による文化財の保存をより強化します。また、手賀沼文化拠点整備計画に基づき、史跡などの文化財を計画的に整備してネットワーク化を進め、その活用と魅力の向上に努めます。		事業目的	旧井上家住宅（９棟）は、手賀沼干拓の歴史と江戸時代の名主邸の面影を残す貴重な建造物であり、現状維持管理を続けながら、旧井上家住宅邸内の基本・実施設計を定めて今後の保存・活用を図る。（平成24年12月28日市の指定文化財に指定）
(3)事業内容	内　容	・旧井上家住宅（９棟）について、建物の寄附を受けその土地を取得する。（平成24年12月28日市の指定文化財に指定） ・布佐地区の中核的な文化財として「我孫子市文化財保存活用地域計画」に位置付け、修繕工事や整備工事等と実施し、一般公開をしていく。 ・当該年度は、政策的事業として、旧井上家住宅母屋保存整備工事実施設計を行い、令和３年度からの保存整備工事に備える。 ・旧井上家住宅の歴史や建物の価値を多くの人に知ってもらう。 ・公開の中では、歴史、文化芸術・観光・環境・地域の活性化など多くの分野で広く活用を進める。		当該年度執行計画	・母屋保存整備工事実施設計 ・旧井上家住宅屋外トイレ設置工事実施設計
				当該年度活動結果指標	母屋保存整備工事実施設計　単位 %　想定値 100　実績値

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該年度	母屋保存整備工事実施設計を完了する	間接	母屋保存整備工事実施設計	%	70	100
令和 3年度	建物の保存修理工事等を進めながら、一般公開（部分公開）を行う。	直接	母屋保存整備工事　進捗率	%		20
令和 4年度	建物の保存修理工事等を進めながら、一般公開（部分公開）を行う。	直接	母屋保存整備工事　進捗率	%		40

(7)事業実施上の課題と対応	代替案検討
前年度から引き続き、今年度保存整備工事の実施設計を策定する。策定に当たっては施設管理課の建築技師と連携して設計を行い、実際の工事の際には施設管理課の建築技師に現場監督職員をお願いする。	○有　●無

(8)施行事項

	平成31年度		令和 2年度			令和 3年度		令和 4年度	
	政策 内　容	金額(千円)	政策 内　容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策 内　容	金額(千円)	政策 内　容	金額(千円)
実施内容 費　用	消耗品費	80	報償費（講師報償費）	60		報償費（講師報償費）	60	報償費（講師報償費）	60
	光熱水費	227	消耗品費	80		消耗品費	80	消耗品費	80
	施設修繕料	150	光熱水費	182		光熱水費	182	光熱水費	182
	通信運搬費	33	施設修繕料	100		施設修繕料	100	施設修繕料	100
	その他保険料	24	通信運搬費	33		通信運搬費	33	通信運搬費	33
	施設設備等保守点検委託料（消防設備）	94	その他保険料	24		その他保険料	24	その他保険料	24
	警備管理委託料	190	施設設備等保守点検委託料(消防設備)	95		施設設備等保守点検委託料(消防設備)	95	施設設備等保守点検委託料(消防設備)	95
	草刈委託料	232	警備管理委託料	165		警備管理委託料	165	警備管理委託料	165
	樹木管理委託料	1,356	草刈委託料	237		草刈委託料	237	草刈委託料	237
	建物管理委託料	2,219	樹木管理委託料	1,342		樹木管理委託料	1,342	樹木管理委託料	1,342
	電柱広告使用料	37	建物管理委託料	2,273		建物管理委託料	2,273	建物管理委託料	2,273
	警備機器設置・撤去工事	47	電柱広告使用料	37		電柱広告使用料	37	電柱広告使用料	37
	＊母屋実施設計（継続費31年～32年度）一般公開（部分公開）	3,078	＊母屋実施設計（継続費　平成31年～令和2年度）（起債対象）	15,014		＊母屋工事（継続費1年目、監理費込）（起債対象）	69,667	＊母屋工事（継続費2年目、監理費込）（起債対象）	69,667
	（予備費）塀修繕　台風15号被害	356	＊旧井上家住宅屋外トイレ設置工事実施設計業務委託料（起債対象）	1,491		＊旧井上家住宅屋外トイレ設置工事（補助金・起債対象）	10,248		
			（流用）樹木管理委託料	△16		＊引込線改修工事に伴う設計業務委託料	500		
						＊宅内電気設備引込改修工事費	7,557		
予算(決算)額	合　計	8,123	合　計	21,117		合　計	92,600	合　計	74,295

(9)財源内訳	平成31年度		令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	
国庫支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
県支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0	補助率 66 %	6,700	補助率 0 %	0
起債	充当率 90 %	2,700	充当率 90 %	14,800	充当率 90 %	65,800	充当率 90 %	62,000
一般財源		5,423		6,317		20,100		12,295
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0

(10)人件費等	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
換算人数(人)	0.76	0.76	0.76	0.76
正職員人件費	6,688	6,612	6,612	6,612
嘱託職員報酬額	0	0	0	0
臨時職員賃金額	0	0	0	0
事業費(予算(決算)額＋正職員人件費)	14,811	27,729	99,212	80,907
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）	493.7千円／%	277.29千円／%		

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目	事　前　評　価	事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））	改善検討
必要性 (1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	旧井上家住宅は、我孫子の歴史を語るうえでも非常に貴重な建造物である（平成24年12月28日現在で、国の登録有形文化財から市の指定文化財となる）。こうした我孫子の貴重な建物を市内外問わず多くの方々に知ってもらい、我孫子の歴史を未来へ継承する必要がある。	○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞	○要 ○不要
必要性 (2)市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ＜その他の内容＞ ●②自治体である市が推進すべきである （理由）■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 ＜その他の内容＞	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 ＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞ ＜その他の内容＞	○要 ○不要
参加・協働の工夫 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容：○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 工夫の具体的な内容： ＜その他の内容＞ 部分公開している箇所でのイベント	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）： 参加・協働の程度・内容：○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要
環境への配慮 環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点：□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 取組む内容： ＜その他の内容＞ 自然素材をできる限りリサイクルして建物を直している。	実施した具体的な内容： 環境への配慮：○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要

効率性

(1)目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック	達成状況 実績値(f)(%)	達成率(%)(f/b×100)		改善検討
	70	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞	○要 ○不要

(2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減 事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	事業費削減率(%)	実施予定の対策	実施状況 実績値(g)(千円)	対事業費(%)(g/c)×100		事業費の削減対策について	改善検討
	27,729	△12,918	△87.22	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 ＜削減の内容＞			○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜超過理由等＞	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要

(3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)	単位	費用単位	計算方法	達成状況 実績値(h)	対目標値(%)(h/e)×100			改善検討
	0.11	%	10万円	○①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ●②複数年度の指標：(目標値－現況値)×費用単位／事業費			○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向